

# 茶の間

まちの動き

## 土幌・上土幌消防署合同訓練

10月31日、農村運動公園にて、土幌消防署・上土幌消防署合同訓練が行われました。訓練には土幌消防署18名、上土幌消防署5名のほか、協力機関として帯広警察署土幌駐在所2名、土幌消防団大西団長・佐藤副団長が参加しました。今回の訓練は、「交通事故が発生し、多数の傷者と救助が必要な者がいる」と想定し、トリアージ(傷の程度の判定と搬送の優先順位を決めること)と、複数の出動隊の指揮、安全管理が迅速かつ確実に実施され、それらを冷静に判断できているかを訓練の主眼としました。淡中署長は「お互い連携して消防活動をやることが、土幌町・上土幌町の住民に対し、安心安全な社会を作る一助となることを確信しています」と述べました。



## 消防団協力事業所表示証交付式



11月8日、従業員が2名以上消防団に入団している事業所として、株式会社平田建設ならびに北斗運輸株式会社の2社に、「消防団協力事業所表示証」が土幌町として初めて交付されました。

交付式では株式会社平田建設野中栄忠代表取締役ならびに北斗運輸株式会社藤澤隆夫代表取締役社長が役場を訪れ、小林町長から表示証を受け取りました。

大西消防団長は「自分の町は自分で守るといふ誇りを持ち、即戦力として活躍していただきたい」と述べました。

## 火の元に気をつけて70歳以上単身世帯防災点検実施



11月10日、土幌消防署による「70歳以上単身世帯防災点検」が実施されました。今後の地域での活動に繋げるため、女性消防団員2名も初めて点検に参加し、単身世帯のお宅を一軒ずつ回りながら家の中のストーブやコンセント周り、消火器などを点検しました。

## 租税教育に感謝状、中央中へ

11月14日、帯広税務署武田亮署長から土幌町中央中学校へ、平成28年度租税教育推進校等表彰帯広税務署長表彰が贈られました。

中央中学校は、税理士会が行っている租税教室(出前授業)の9年連続での開催や、7年連続での中学生税の作文への応募のほか、出前とは別に租税に関する授業も行っており、平成26年度には生徒が税の作文で北海道税理士会会長賞を受賞するなど、租税教育に積極的に取り組んでいます。

土幌町中央中学校小澤校長は「生徒にはこれを励みに、また勉強してもらいたい」と述べました。

